

# グループもみじ

法人理念



「ひとりの人を大切にした まごころ介護」

「ひとりの人の可能性を信じる まごころ介護」

私たちグループもみじは出会いから、最期まで  
ご本人・ご家族のパートナーとして寄り添い続けます。  
「必要なときに・必要なことを・必要なだけ」  
もう一つの我が家として暮らしのお手伝いをいたします。

新しい令和の時代になってはや 5 か月、先日「即位礼正殿の儀」が行われ、天皇陛下が正式に即位を国内外に宣明されました。新たな時代とともに、私たちグループもみじもこれまで以上に多くの皆様に寄り添いながら、必要とされることに柔軟に対応し地域の中のもう一つのわが家として個別サービスを提供し続けていきます。

みんなのあもり



タやけ小やけ



## 長野市 & 松本市

さくら



夢いちもんめ



# 偲ぶ会～今は亡きあなたに想いをはせて

グループもみじの運営する宅老所では、毎年お盆の時期に、人生の最期の時と一緒に過ごさせて頂いた、今は亡きお年寄りの皆さまの思い出を語り合う「偲ぶ会」を行っています。それぞれの事業所で行われた偲ぶ会の様子をお伝えします。

## タヤけ小やけ

タヤけ小やけで一緒に過ごされ旅立たれた方々を想いながら祭壇を作り、皆さんと思い出を語りながら偲びました。



久しぶりだね(^\_^)と聞こえたような？  
あの世から映し出された懐かしい姿を見ながら思い出を語り合いました。



お供え物もそろって、  
迎える準備ができました



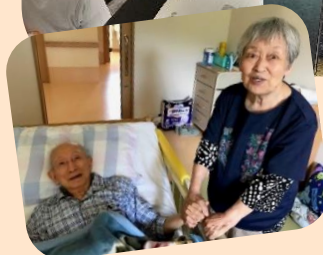
## 夢いちもんめ



## さくら



今年1月に亡くなられたフミコさんの追悼と感謝の気持ちを込めて「偲ぶ会」を行いました。  
写真をみんなで見ながら、文子さんの大好きだった「隣組」「信濃の国」など歌い、いつまでも忘れる事のないよう、みんなで手を合わせました。



あれっ私？  
いい顔してる

故人を偲ぶだけではなく、宅老所さくらの今、昔の写真も合わせてスライドで上映し、そこにたくさんの笑顔が「今」もしっかり繋がっていると実感しました。

# 季節で感じるもみじの宅老所

## 4月、5月

さくら

公園でお花見



お花見の席で、  
お年寄りのご家  
族の方が、三味  
線を披露してく  
ださいました。



みんなのあもり

春爛漫！  
さくらの花、綺麗だね



あもりの仲良し3人娘です!!



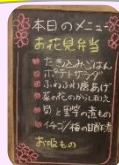
新時代令和の幕開け

みんなのあもり

令和の始まり  
は書初めで



お花見弁当おいしそう!



さくら

明治、大正、昭和、平成をたくましく生き抜いた女性の皆様へ癒しを！  
令和初のアロマハンドマッサージで、いくつになってもきれいに…



# 6月、7月



## みんなのあもり



ポカポカ陽気にさそわれて、ガーデニングをはじめました

バラ園で、風にさそわれいい香り！



今日は、ヒサヨさんの懐かしいなじみの場所  
巡りへ出かけました。  
言葉が少なくなっているヒサヨさんにとって、  
なじみの地名、かつていた土地に関わることは大切なことです。

## さくら



自身で会社を設立し、いつもスーツ姿のオシャレなアツシさん、6月に99歳を迎えました。  
「令和はどんな日本になるかな？」と今日も素敵な笑顔です。

## (松本七夕人形)



## 夕やけ小やけ



江戸時代から広まったといわれる古きよき習慣の七夕は、年をとってもお年寄りの心の中にしっかり宿っています。今日は「願いがかないますように」と短冊に願いごとを書いて、若いスタッフとともに七夕メニューのお昼をいただきました。

明治、大正、昭和、平成そして令和へ

宅老所さくらのマキコさんが 10 月に 108 歳の誕生日を迎えました。これまで明治、大正、昭和、平成と 4 代の天皇陛下の時代を過ごされました。そして令和の時代へ… まだまだお元気に日々過ごしておられます。これから寒い冬に向かっていきますが、お元気パワーで寒さも吹き飛ばしてってください。



今日は大好きなたい焼きで  
お祝いですよ！



夢いちもんめ夏祭り



夢いちもんめの夏祭りの様子が松本市の市民タイムスに掲載されました。以下記事より

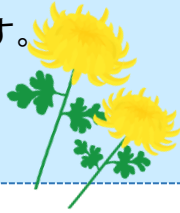
今年で 3 回目になる夏祭りは「夢いちもんめ感謝祭」と銘打ち、地域住民とスタッフらが一緒に食事をして親睦を深めた。スタッフや地域の方への感謝を実際に形として伝える場にしていきたいと話していた。



# ～グループもみじに入職して～

グループもみじに入職して思うこと、感じたこと 岩本加津美（宅老所さくら 介護職員）

古民家での施設、そこで働くスタッフ、元気ハツラツな管理者、和やかで楽しく利用者さんと共に過ごす、本当の家族のようだと思うくらい雰囲気のある職場です。



手作り料理でさくらのみなさんに元気を提供しています（右：岩本スタッフ）



これからグループもみじへ入職しようというみなさんへ 渡邊 進（宅老所さくら 介護職員）

私は宅老所さくらの利用者さんと、家族や地域とのつなぎ役になることに少しでも役立ちたいと思っています。実践で学び、敬意をもって適切な生活のヒントを出しながら、利用者さんが少しでも自分らしい生活ができるよう寄り添い上手を目指します。



いつも清楚で几帳面、さわやかな笑顔で利用者さんを送迎します（右：渡邊スタッフ）



## 消防訓練

### 夢いちもんめ



落ち着いて消防署へ通報  
「火事です！火事です！」

グループもみじの消防訓練の様子です  
消防士さんより消火時の手順を説明していただきました。

1. 火事だーと叫ぶ
2. 消火器をもって黄色いレバーを引く
3. ノズル(ホース)を外す
4. 火元にホースを向けてレバーを握って薬剤を噴射する

一度使ったら終わるまで使い切る。  
約 30 秒間 6～8 メートルくらいまで噴射できるとのことです。

### みんなのあもり



## もみじの理念と実践とは

今、私が誇りに思うことは、安茂里の住宅街の小さな借家で始めた、認知症の人たちとの暮らし「家族ごっこ」がその人をその人らしくよみがえらせて、その人の人生を見届けるケアが出来たことだ。それは、私の経験の力というよりも、現実社会のきびしさに立ち向かう勇気と挑戦の追い風となった多くの人々の共感の輪にほかならない。

そのひとつの私にとって大きな励みは、トシ造さんからの「お前と出会えてよかった、俺もう安心だで」の信頼の言葉と、ともに最期を迎えた後「私たちのこの安心はもみじの皆さんのおかげです。こうして後悔することなく母と送ることができたことは、これからの私たちの人生を安心して生きていけます」の家族の言葉。

そして「人はこうして人生を生き切り、終えていくのですね、人が死ぬ姿は、このような意味深いものなのですね」と改めて人間の死を厳粛に理解した若いスタッフ。私たちのもみじでのめぐり合いの日々は、そこに生きる「あなたとわたし、家族のように」のケアの姿として20年目の今も厳然と生きつづけていることに意味があります。



## グループもみじ学習会

グループもみじでは、毎月「もみじ学習会」を開催しています。学習会は、田中代表が毎回テーマを決めてそれについてスタッフが考察していきます。今回は、「グループもみじの理念と実践」について学びました。



お話を聞きながら、さくらに通われている一人一人の利用者さんや、どんなに大変な中でも一生懸命に支えられているご家族が頭に浮かんできました。自分がここまで仕事を続けてこられたのも、やりがいを持っているのも、グループもみじの理念があって、それを実践できる環境があって本当に信頼関係を築けるご家族がいて、認知症であっても「その人らしく最後まで」の実現に繋がっているのだと強く自分の気持ちを再認識することができました。私が一番大切にしたいことは、さくらと縁あって出逢った利用者さん、ご家族皆さまが「さくらと出逢って本当に良かった」と感じて頂くこと、それがやりがいであり絶対にブレたくない事です。これからも初心を大切に、しっかりと芯を持ち続けていこうと思います。（さくら管理者より）

研修会は介護士としてさらなる意欲と希望を頂きました。

理念と実践がしっかりと芯が通っておられ、厳しさの中に温かさに包まれます。毎日が緊張と向上心をもってただ夢中ですが、私はこの状況が好きです。グループもみじの理念に基づき「一歩前進しよう」と指針を持ち行動してまいります。そして皆さんとスクラム組んで頑張ってまいります。

利用者様の「今日は本当に楽しかったよ 又来るよ」の言葉にささえられてベストパートナーとなるために努力を惜しみません。グループもみじの一員になれました事に感謝です。（夢いちもんめスタッフより）

# 災害のお見舞い申し上げます

令和元年 10 月豪雨により、各地で多数の方々が被害に遭われ、家屋を流されたり身体に危害を受けたり命を失われた方がおられます。大雨の影響で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、皆様から心温まる義援金・寄附金を頂戴いたしましたことに心から感謝申し上げます。お寄せいただきました義援金は、全額長野県宅老所・グループホーム連絡会へ寄付させていただきます。被災者の皆様の復興に有効に活用させていただくとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



## グループもみじ サポーター募集中

グループもみじでは、認知症高齢者の寄り添いサポーターを募集しています。認知症高齢者にとって、世代を超えて、人と人が地域で支え合い、お互い寄り添って支えていただける人の存在は欠かせません。例えばお年寄りと一緒におしゃべりしたり、料理をしたりなど、まずは私たちと一緒に始めてみませんか？



NPO 法人グループもみじ 〒380-0941 長野県長野市安茂里葭ヶ淵 1861  
電話 026-227-4425 FAX 026-217-7764 ホームページ グループもみじ

検索

介護でお困りの事などお気軽にお問い合わせください。見学も随時受け付けております。

|            |                 |              |
|------------|-----------------|--------------|
| みんなのあもり    | 長野市安茂里葭ヶ淵 1861  | 026-226-0903 |
| 宅老所さくら     | 長野市吉田 5 丁目 13-7 | 026-244-7104 |
| 夕やけ小やけ     | 松本市並柳 1 丁目 3-18 | 0263-87-2760 |
| 宅幼老所夢いちもんめ | 松本市庄内 1 丁目 7-17 | 0263-26-1680 |